



医学・看護学教育通信

第6号
発行 2007.4.16

佐賀大学医学部 教育広報部会

はじめに

新年度を迎え、新たな教育プログラムがスタートしました。学生は6年間、あるいは4年間の学習のゴールと、本年度の目的を新たにして臨んでほしいと思います。

第93回保健師、第90回助産師及び第96回看護師国家試験の合格発表について

平成19年2月に実施された保健師、助産師、看護師国家試験の合格者が3月27日に発表されました。

合格発表の結果は(表1)の通りで、本学受験者の各国家試験の合格率は、新卒者だけでなく既卒者を含めても全国平均を上回っていますが、残念ながら看護師国家試験では1名が不合格でした。

(表1) 保健師、助産師、看護師国家試験の合格発表の結果

		受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
第93回 保健師	本学	67/73(既卒含)	67/73(既卒含)	100/100
	全国	11,140	11,029	99.0
第90回 助産師	本学	8	8	100
	全国	1,621	1,529	94.3
第96回 看護師	本学	57/60(既卒含)	56/59(既卒含)	98.2/98.3
	全国	50,766	46,000	90.6

今年度の合格基準は保健師・助産師国家試験共に一般問題と状況設定問題を合わせて134点満点のうち、81点以上が合格となりました。看護師国家試験は必修問題及び一般問題が、30点満点のうち24点以上、状況設定問題が269点満点のうち194点以上で、この2つの両基準を満たす者が合格となりました。

近年の国家試験の出題傾向として、状況設定問題の配点が高く、単なる知識だけでなく看護過程に即した理解力や問題解決能力が問われています。さらに、来年からは看護師国家試験に不合格の場合は、保健師、助産師の国家試験に合格しても免許が付与されませんので、看護職としての就職はできなくなります。

(成人・老年看護学 藤田君支)

ハワイ大学との国際交流事業について

佐賀大学医学部は、米国ハワイ大学医学部(John A. Burns School of Medicine; JABSOM)と国際交流協定を結んでおり、学生交流事業をはじめ、FDを目的とした各種ワークショップに参加しています。

本年度予定されている学生交流プログラムは、(表2)の通りです。クアキニ・メディカルセンターでの臨床実習には、現実の患者に接するクラークシップであり、最低でもTOEFL 240点(CBT)、できれば250点相当の英語能力を証明する必要があります。

臨床推論ワークショップは、小グループによる症例基盤型、模擬患者を使った診察、Triple Jumpと呼ばれる臨床推論の評価など、ハワイ大学式のPBLカリキュラムを、短時間で習得できます。英語能力の証明は要求されません。従来は4年生を派遣していましたが、そこで学んだPBLを普及させ、佐賀のPBLの質を上げるという点では、その後の学習につなげることができる3年生を一部は派遣することも意義のあることでしょう。

JABSOM 学生の交換留学は、2年次が終了した学生が佐賀大で臨床実習を行うものです。毎年、PBLのデモンストラレーションもやっています。

このようなプログラムは大変人気が高く、例年、学内選考会を行っています。興味のある人は、参加する目的をはっきりさせ、きちんと英語で表現できるように準備しておいてください。

(ハワイ大学国際交流部会長 小田康友)

(表2) JABSOM-佐賀国際交流プログラム

プログラム	対象	開催時期	募集時期
クアキニ・メディカル センター臨床実習	6年次医学生 2名	5月～6月 4週間	4月初旬
臨床推論 ワークショップ	3・4年次医学 生 5名程度	8月後半 10日間	5月
JABSOM MS 交換留学	JABSOM MS2 4名が佐賀大へ	6月中旬 2週間	

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、
江村正、藤田君支、田崎法人

ご意見をお待ちしています (oday@cc.saga-u.ac.jp)。